

岐阜県立高山工業高等学校で防災講座を行いました

令和8年10月29日（木）、岐阜県立高山工業高等学校で1年生約60名に防災講座を行いました。この学校での講座は4年目となります。学校は、宮川と苔川（すのりがわ）に挟まれています。

講座では、飛騨地方の水害として、この高山市でも死者・行方不明者3名の被害があった平成16年台風23号、平成26年8月豪雨など過去の水害や令和8年9月名古屋市の大雨など最近の水害、避難・備えについて学習しました。高山市内には、平成16年台風23号の実績浸水深を表した看板が設置されています。

また、VR・映像による浸水の擬似体験やA I 語り部との会話を通して、水害の恐ろしさや伊勢湾台風について理解を深めました。

最後に代表の生徒から「大雨が降ったり台風が来たときのために、家に帰ってハザードマップを確認したいです。」と御礼の言葉がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

